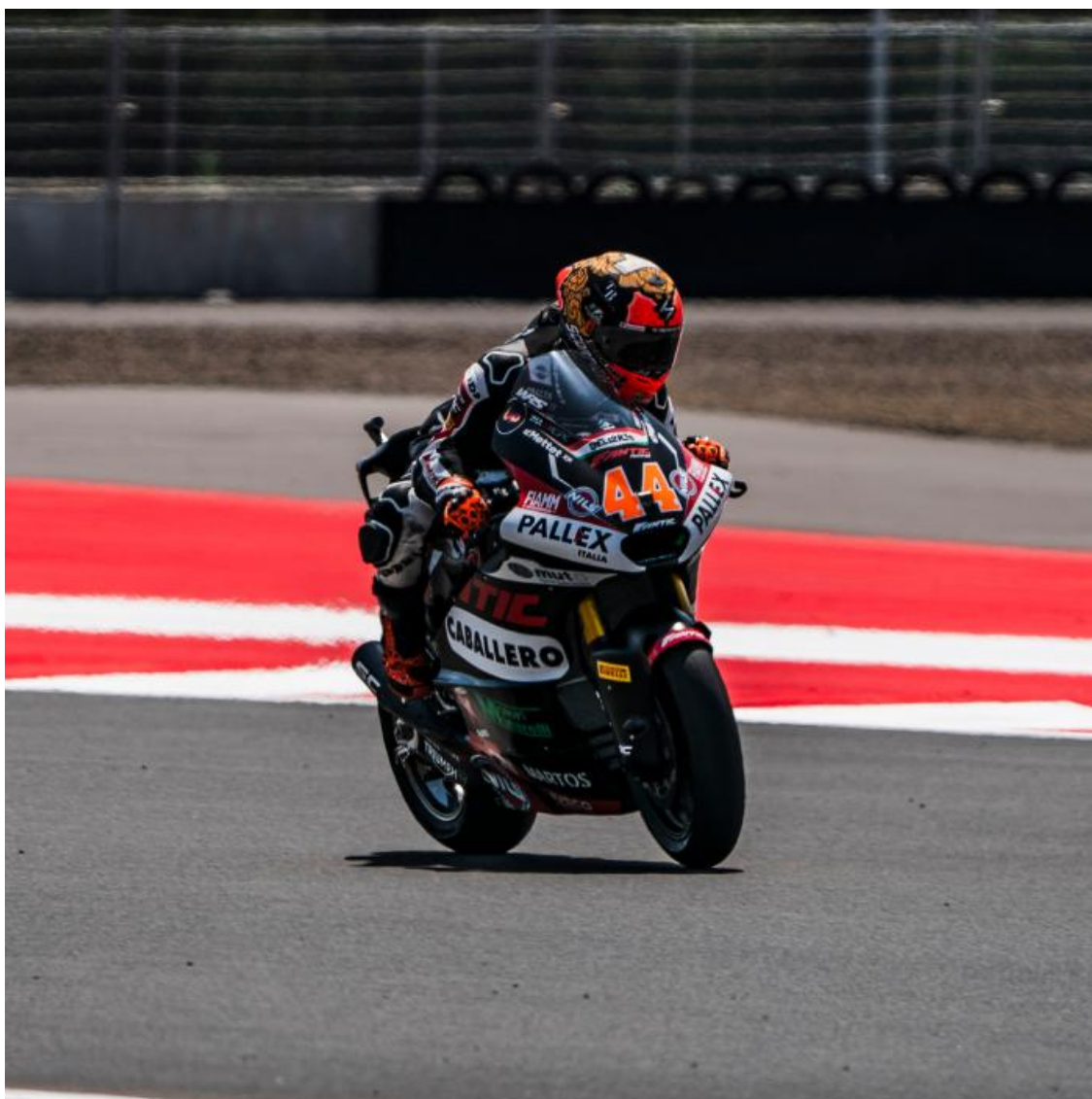


インドネシア GP : カネットが 21 番手から 3 位へ躍進。バルタスも力強いレースで 4 位獲得

ファンティック・レーシング、マンダリカで躍進。カネットが 21 番手から 17 ポジションを挽回し、バルタスも苦しい序盤からトップ 5 へ。

レース後、M.ゴンザレスの失格により、正式結果はカネットが 3 位、バルタスは 4 位となった。



MotoGP 第 18 戦インドネシア GP が、10 月 3 日から 5 日にかけてインドネシアのプルトミナ・マンダリカ・インターナショナル・サーキットで行われ、Moto2 クラスに参戦するファンティック・レーシングのアロン＝カネットが 3 位、バリー＝バルタスが 4 位を獲得した。

インドネシア GP の土曜日は、ファンティック・レーシングにとって悲喜こもごもの予選となった。バルタスは金曜日に苦戦したものの、マシンのフィーリングをつかんで Q2 ダイレクト進出を果たし、予選でも 9 番手を獲得した。バルタスは金曜日フリープラクティス 1（FP1）のあとに脱水症状と食中毒で体調を崩し、クリニックに行かなければならない状態だった。この体調を踏まえれば、悪くはない予選順位だと言えるだろう。

カネットは金曜日午後のプラクティスでの転倒もあって Q2 ダイレクト進出を果たせず、土曜日の予選でも Q1 を突破できなかった。カネットは Q1 で 7 番手、グリッドとしては 21 番手から決勝レースを迎えた。

日曜日の決勝レースは 22 周で行われた。21 番手からスタートしたカネットは、驚異的な追い上げを展開する。Moto2 クラスにおいては、上位を狙うのであればスタート位置がより重要となる。しかしカネットは素晴らしいスタートを切って 1 周目に早くもポイント圏内（15 番手以内）に浮上すると、5 周目にはトップ 10 へ、7 周目にはトップ 5 にポジションを上げた。その後も力強いレースペースを維持し、4 番手でチェッカーを受けた。

バルタスもまた、粘り強い走りを見せた。スタートで 15 番手まで後退する苦しい展開となったが、持ち前のマネジメント能力でレース中盤には 7 番手までポジションを上げ、さらに果敢に攻めて 5 番手でフィニッシュした。バルタスもまた、素晴らしい追い上げのレースを見せたのである。



レース後、2 番手でゴールしたマヌエル・ゴンザレスが失格となった。これは、ゴンザレスのマシンが非公認のソフトウェアバージョンを使用していたためである。ゴンザレスの失格により、カネットの力走は 3 位表彰台という形で報われた。

また、バルタスは 4 位に繰り上がった。週末を通して体調不良に苦しみながらも、その強靱な精神力と闘志で戦い抜いた。

この結果により、チャンピオンシップのランキングトップであるゴンザレスと、ランキング 3 番手のカネットとの差は 33 ポイント、ランキング 4 番手のバルタスとの差は 43 ポイントとなった。

チームランキングとしては、現在ファンティック・レーシングがトップにつけている。ファンティック・レーシングはそのリードをさらに広げ、残り 4 戦の時点でランキング 2 番手のリキモリ・ダイナボルト・インタクト GP との差を 54 ポイントに拡大した。

第 19 戦オーストラリア GP は、10 月 17 日から 19 日にかけて、オーストラリアのフィリップ・アイランド・サーキットで行われる。

アロン=カネット：

厳しい週末だったけれど、今日は本当に素晴らしいレースができた。この結果をつかむためにハードワークを続けてきたんだ。常に信頼し、支えてくれるチーム全員に感謝しているよ。

バリー=バルタス：

5 位（他のライダーの失格により正式結果は 4 位）という結果には満足しているけれど、正直なところ、もう少し上を狙っていたので少し悔しさもある。金曜日午後の状況を考えれば、まさかここまで来られるとは思っていなかったけれど、ペースとしては自分が最強の一人であることを示せたと思う。レース中に他のライダーを抜いていくのは本当に楽しかったし、このペースがあれば表彰台も狙えたはずだ。

この週末は食事もほとんど取れず、本当に過酷だった。でも、今はこの結果に満足しているんだ。しっかり回復して、次戦で今季初勝利を狙う準備を整えるよ。

ロベルト=ロカテリ（チームマネージャー）：

素晴らしい日曜日でした。アロンは驚異的なレースを見せ、信じられないほどの追い上げでまさしく表彰台にふさわしい走りをしました。バリーもまた、強い決意を持って堅実なパフォーマンスを発揮しました。

3 位と 4 位という結果でしたが、これは予選での厳しい展開が影響したものです。レースペースだけを見れば、ダブル表彰台も十分に狙えたと思います。チーム全体の働きにとっても満足しています。我々は重要な前進を遂げました。次戦のオーストラリア GP では、今回得たことを金曜日からすぐに実践していきたいと思います。

■Moto2 クラス チャンピオンシップ ランキング

	ライダー	チーム	バイク	ポイント数	トップとの差
1	M.ゴンザレス	LIQUI MOLY Dynavolt Intact GP	KALEX	238	
2	D.モレイラ	Italtrans Racing Team	KALEX	229	9
3	A.カネット	Fantic Racing	KALEX	205	33
4	B.バルタス	Fantic Racing	KALEX	195	43

■ライダープロフィール

アロン=カネット

1999 年 9 月 30 日生まれのスペイン人。2016 年にロードレース世界選手権 Moto3 クラスデビューを果たし、2019 年にはランキング 2 位を獲得。2020 年、Moto2 クラスにステップアップ。2024 年にファンティック・レーシングに移籍し、ポルトガル GP で初優勝を飾った。このシーズンは小椋藍に次ぐランキング 2 位を獲得。2025 年、チャンピオン獲得を目指す。

目下、最大の目標は「世界チャンピオンになること」。幼少期は父親からカートを与えられたが、「バイクのほうがいい」と言って乗り始めた。その当時からゼッケン「44」を使用している。

バリー=バルタス

2004 年 5 月 3 日生まれのベルギー人。2020 年に Moto3 クラスデビュー。2022 年に Moto2 クラスにステップアップした。初表彰台は 2024 年のカタール GP。この年、オートレース宇都レーシング・チームから鈴鹿 8 耐にも参戦している。2025 年、ファンティック・レーシングに移籍し、表彰台の常連になりつつある。なお、9 月 13 日に 2026 年もファンティック・レーシングから Moto2 クラスに参戦することが発表された。

バルタスの父親がバリー=シーン（伝説的イギリス人 WGP チャンピオン）の大ファンで、そのためにバルタスは「バリー」と名付けられた。ゼッケンの「7」もこれに由来するもの。

